

登録コード	SG001900	開講年度	2026				
授業題目	数学科指導法 I				担当教員	志津 千代子	
英文授業名	Teaching Methods of Mathematics I				副担当	小山 茂喜	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・5時限	対象学年	2年
講義室	理学部第8講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学習指導要領を概観することを通して、中学校及び高等学校の数学科における指導方法の基礎（教材解釈を含む）を身に付け、生徒が数学的な見方・考え方を働かせる数学的活動を通した学習とは何かについて実践的な見地から検討する。ICTを活用する場面を設定し、授業改善の方向性を探る。						
(5)授業のキーワード	数学科教育、指導法、教材研究、教育評価、ICT活用						
(6)授業計画	第1回：中等教育における数学教育の現状と課題 第2回：学習指導要領（1）学習指導要領の変遷 第3回：学習指導要領（2）数学科の目標・教育内容・評価 第4回：学習指導要領（3）指導計画の作成と内容の取扱い 第5回：数学科の内容「A 数と式」 第6回：数学科の内容「B 図形」 第7回：数学科の内容「C 関数」 第8回：数学科の内容「D データの活用」 第9回：問題解決型学習と授業展開 第10回：授業参観 第11回：授業研究 第12回：ICTを活用した授業実践に学ぶ 第13回：指導案作成(1) 第14回：指導案作成(2) 第15回：まとめ 及び「授業のふりかえり」の入力						
(7)成績評価の方法	発表の仕方、その内容、レポートの内容および受講態度などを総合評価する。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(8)成績評価の基準	発表の仕方、その内容、レポートの内容および受講態度などを総合評価する。 すなわち、（i）講義内容の理解（ii）当日に課された課題レポートの内容（iii）教材研究の内容（iv）作成した指導案の内容（v）発表（プレゼンテーション）の仕方（vi）積極性などの授業での取り組み状況 のいずれにおいても達成目標で想定したレベル以上であれば「卓越している」、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(9)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、当日の授業内容の理解を問う課題や次回の授業内容につながる課題を出す。次回の授業の冒頭で課題用紙を回収し、内容等を含め取り組み状況をチェックする。併せて、取り組み内容について、数名かの受講者に説明をしてもらうので、記載内容についてきちんと説明できるようにしておくことが求められる。						
(10)履修上の注意	教職科目で数学の免許を取得する場合は必修						
(11)質問、相談への対応	授業日の授業時間外の時間で教職相談室にて質問・相談を受け付ける。 授業終了後、時間的な余裕があれば、そのまま講義室でも質問や相談への対応は可能。						
【教科書】	「中学校学習指導要領(平成29年告示)」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)」「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編」「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 数理編」(文部科学省)						
【参考書】	『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 数学』国立教育政策研究所(令和2年)、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 数学』国立教育政策研究所(令和3年)						